

日本図書館情報学会会報

【速報版】

No. 130-F1

2008年4月

日本図書館情報学会事務局
〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内
E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp
学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/index.html>
郵便振替口座:00160-5-45759 (口座名義=日本図書館情報学会)

新会長就任にあたって

根本 彰 (東京大学)

昨年秋の役員選挙で会長に推挙され、上田修一前会長の後を受けて3年間会長を務めることになりました。重責とは思いますが、新しい役員の皆様のご協力を得て学会ならびに図書館情報学の発展のために力を尽したいと思えます。

学会運営に携わるにあたっての私の考えを2、3述べてみます。

日本図書館情報学会は1953年に日本図書館学会として設立されました。できた経緯は、図書館法(1950)や学校図書館法(1953)が成立し大学で司書や司書教諭の養成を行うことになったために、大学を基盤にした図書館学研究や図書館学教育が必要になったことにあります。しかしながら当時、図書館学を開講していた大学はきわめて少数で、会員の主力は図書館現場の職員でした。本学会の運営は研究を指向した図書館職員と数少ない大学教員によって担われていました。

1970年代以降の高等教育の大衆化と図書館数の増加とともに、専門知識と技術をもった図書館員への需要が増大し、司書課程や司書教諭課程を設置する大学が増えました。新たに図書館学の専門課程を設置する大学も現れました。大学院による研究者養成も始まり、学会運営の中心は大学教員に移りました。

こうして1980年代後半以降になって、学会活動の基本である学会誌の査読体制の整備、研究大会に加えて春季研究集会の発足、研究委員会による「論集」および「フロンティア」シリーズの編集、学会賞の定期的な授与といったことが可能になりました。この時期は「図書館」という概念が情報技術の進展を受けて大きく変わった時期です。ちょうど10年前の1998年には長年の課題であった学会名の変更が行われ、現在の図書館情報学を名乗るようになりました。

そしてこの10年間は研究支援体制を実質的に強化する時期であったと考えられます。大学院生の増加とともに、研究発表数や学会誌への掲載論文数はかなり増えました。学会賞や学会奨励賞も毎年順調に出るようになり、研究の質も上がっています。

また、2003年の学会創立50周年の記念式典をきっかけにして、科学研究費補助金を受けた図書館情報学教育と専門職養成に関する共同研究(略称LIPER)が始まりました。従来の学会活動は会員のための研究支援を中心としており、対社会的な活動については特定の時期を除いてあまり積極的でなかったのですが、学会がこうした外部の問題に積極的にかかわるべきかどうかという課題が表面化するようになりました。

ということで、現在は本学会が学会らしい形式と活動内容を併せ持つことができるようになっていくと同時に、新しい状況が生まれつつあるところだと思われれます。こうした現状認

識のもとで、次に何をすべきなのかについて考えてみたいと思います。

まず、これまで積み上げられてきた会員の研究活動の支援体制を今後も継続することです。学会誌、研究大会、春季研究集会のような会員個人の研究発表の場および意見交換の場についてはきちんと提供してまいります。そのなかでも学会誌の査読システムは学会が機能すべき存在理由の最たるものですが、会員の皆様の積極的な協力がなければ成り立ちません。今後も参加しやすい仕組みを探ってまいります。

こうした研究成果の発表の場を作り出すこと以外の学会活動に関しては、会員の皆様のご意見をうかがいながら必要なものは継続・改善し、場合によっては見直しも含めて検討をしていきたいと思っております。たとえば、「図書館情報学のフロンティア」シリーズの編集や文献目録データベースの管理、研究助成金の支出、学会賞・学会奨励賞・学会貢献賞の授賞、会報の発行等々です。

また、前期で検討した LIPER 関連の提案に対して、学会がどのようにかかわっていくべきなのかについても結論を出したいと考えます。さらに、来年 2009 年 3 月には本学会も共催団体の一つになっている Asia-Pacific Conference on Library & Information Education & Practice(A-LIEP 2009)が開催されるのに合わせて、本学会の国際的なプレゼンスを高めるための試みを行う予定です。

実は会員が増え学会活動が活発になるにつれて、学会の財政規模も大きくなっており、収支のバランスを保持することが難しくなっています。安定した運営を行うには支出の見直しとともに安定した収入源の確保が必要です。前期には、通信総会や役員選挙に電子投票を導入して一定の成果を挙げましたが、投票率向上に結び付けるところまではいきませんでした。こうしたことも含めて、学会活動を維持していくための安定的なインフラづくりの方法について、調査を行いたいと思っております。その結果によっては、今後、会員の皆様に対して会費負担のあり方も含めた新たな提案を行うこともあるかもしれません。

以上、現在、考えていることを列挙してみました。本学会が会員の皆様の研究の拠点として必要十分な支援活動ができるように努力するつもりです。ご協力をお願い申し上げます。

2008 年度～2010 年度常任理事会の役割分担（一部）

会長 根本彰（東京大学）

副会長・学会賞選考委員長 糸賀雅児（慶應義塾大学）

常任理事・編集委員長 吉田右子（筑波大学）

常任理事・研究委員長 岸田和明（慶應義塾大学）

常任理事 竹内比呂也（千葉大学）

常任理事 田村俊作（慶應義塾大学）

常任理事 三輪眞木子（メディア教育開発センター）

常任理事・総務委員長、事務局長 池内淳（会長指名常任理事、筑波大学）

*ここに示した会長指名常任理事および常任理事の役割分担については、正式には5月の理事会で承認されて決定されます。

研究助成金の公募

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

総額 10 万円を限度として、1 件ないし 2 件に交付予定。

2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。なお、2008 年度は、科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので、例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば、申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2009 年 3 月末まで研究を終了させていること。
- c. 2009 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし、領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内（2012 年 3 月まで）に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に掲載する。

4. 応募方法

別紙「2008 年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページから MS-Word ファイルおよび PDF ファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

《郵送先》

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学文学部 岸田和明 気付
日本図書館情報学会研究委員会

《電子メール》 jslis-kenkyu@ml.keio.jp

《研究助成応募要領ウェブページ》 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutjslis_3.html

5. 応募締切

2008 年 6 月 30 日（月）必着

2008年度 日本図書館情報学会研究費助成申込書

年 月 日提出

研究代表者	ふりがな 氏名	所属		会員種別 正会員 学生会員			
連絡先	〒 ----- TEL FAX E-mail						
研究分担者 (共同研究の場合のみ、研究代表者以外を記入すること)	ふりがな 氏名	所属	役割分担 (研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。)				
研究題目							
申請金額	円 (限度額 10万円)						
内訳 (円)	資料購入費	機器購入費	印刷複写費	旅費	消耗品費	謝金	その他
研究の目的 (この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。)							

研究の意義（この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について，具体的に記入してください。）

研究の実施計画

（研究目的を達成するための計画・方法について，①これまでの準備状況②本研究助成金との関連性，の二点を含めて具体的に記入してください。）

研究成果の発表時期（方法）

特記事項（※例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください）

学会賞及び学会奨励賞候補の募集

2008年度の日本図書館情報学会賞及び奨励賞の候補を下記のとおり、募集します。
会員各位からの応募もしくは推薦をお願いいたします。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞ならびに副賞賞金
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞ならびに副賞賞金

2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞 本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞 本学会の正会員・学生会員

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞
正会員によって2006年度もしくは2007年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第53巻第2号から第54巻第1号までに収載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
 - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの。

4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

5. 授賞

2008年度臨時総会（2008年11月16日）において授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞（奨励賞） 応募（推薦）用紙」（所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい）を7月10日（木）までに必着で郵送すること。なお、応募者・推薦者は非公開とする。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名、等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募（推薦）者連絡先
- e. 応募・推薦理由

7. 郵送先：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部 糸賀雅児 気付
日本図書館情報学会賞選考委員会

各委員会・事務局から

事務局の移転

学会事務局の連絡先が本年度より変更になりました。会員の住所・所属等の変更、お問い合わせなどのご連絡は下記までお寄せ下さい。なお、事務局長には会長指名常任理事として、池内淳（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）が就任いたしました。

〒305-8550
茨城県 つくば市 春日 1-2 筑波大学大学院
図書館情報メディア研究科 内
日本図書館情報学会 事務局 池内淳
jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

学会事務局の連絡先が本年度より変更になりました。会員の住所・所属等の変更、お問い合わせなどのご連絡は下記までお寄せ下さい。なお、編集長には吉田右子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）が就任いたしました。

投稿はいつでも受け付けております。会員の皆様、どうぞ、ふるってご投稿ください。投稿規程ならびに執筆要綱は、本学会のホームページもしくは第52巻2号（2006年6月号）を、ご確認ください。投稿原稿の審査手続ならびに関連文書は、第52巻3号（2006年9月号）を、ご参照ください。また、論文投稿にあたってのチェックリストを、第53巻1号（2007年3月号）および53巻2号（2007年6月号）に掲載しましたので、ご活用願います。

投稿原稿の送付先・連絡先は下記の通りです。

〒305-8550
茨城県つくば市春日 1-2
筑波大学大学院
図書館情報メディア研究科
吉田右子研究室気付
日本図書館情報学会編集委員会
yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

2007年度会費納入のお願い

2007年度までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入くださいますようお願い申し上げます。振込先：郵便振替口座：00160-5-45759（口座名義＝日本図書館情報学会）

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更につきましては、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（下記 URL）にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。なお学会への論文投稿等で緊急な連絡が必要な場合、事務局にお届けの個人情報を利用してご連絡を差し上げる場合があります。

会員情報変更申請書：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html
会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは FAX・郵送にてご連絡ください。2007 年度末の退会届け出は、2008 年 5 月 31 日が締め切りです。2007 年度の会費はお支払いください。

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。他団体等からのお知らせのうち、会報でご案内できないもの、および会員からの投稿を主な内容とし、随時（お知らせする案件が発生次第）発行しています。講読ご希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールでお申込ください。

図書館情報学文献目録 DB (BIBLIS) について

BIBLIS はこれまで科学研究費補助金（研究公開促進費）によってデータを新規作成してまいりましたが、諸般の事情により、この補助金の獲得が難しくなりました。今年度はデータ更新を行いませんので、別刷等を文献目録委員会へ送付なさないよう、お願い申し上げます。BIBLIS の今後については、常任理事会にて検討いたしますので、しばらくお待ちください。

関連行事のお知らせ

情報メディア学会第 7 回研究大会のお知らせ

情報メディア学会では「変革期の情報メディア—記録メディアの歴史と保存」を基調テーマにして下記の要項で第 7 回研究大会を開催します。参加希望者は、下記によりお申し込み下さい。非会員の参加も歓迎いたします。

■基調テーマ：変革期の情報メディア

■日時：2008 年 6 月 28 日（土）10：00～17：30

■会場：東京大学山上会館

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

■プログラム概要

・基調講演：高山正也氏（国立公文書館）

・特別講演：若松昭子氏（聖学院大学）

・総会・展示出展者による報告・論文賞表彰・ポスター紹介・懇親会

●参加費：会員 1,000 円：非会員 1,500 円

※ 会費には資料代を含みます。（懇親会参加費 4000 円）

●参加申し込み方法：氏名、所属、電子メールアドレスを明記して、2008 年 6 月 23 日（月）までに、電子メールで本会事務局までお申し込み下さい（当日受付も行いますが準備の関係上なるべく事前申込をお願いいたします）。

●参加申込方法の詳細は、学会ホームページをご覧ください

<http://www.jsims.jp/>

●申し込み先・問い合わせ先

〒305-8550 つくば市春日 1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科内

情報メディア学会事務局 新保史生

e-mail：office@jsims.jp Fax：020-4623-1228

おしらせ

平成 21 年度採用分特別研究員の募集

独立行政法人日本学術振興会では「特別研究員」および「特別研究員 RPD－出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ」を公募しています。募集要項及び申請書様式は下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成募集

公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金では「研究助成金」ならびに「マイクロソフト知的財産研究賞」を公募しています。募集要項及び申請書様式は下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mskoueki.info/>